

平成 28 年度 第 4 回藤沢市図書館協議会 会議録

開催日時 平成 29 年 3 月 28 日 (火) 午後 3 時から午後 5 時 20 分まで

会 場 総合市民図書館 2 階第 1 会議室

出席者 委員側 5 名

委員長 大村 勝敏

委 員 長谷川 豊祐、石川 美保子、於保 ミチ子、
石塚 光里

図書館側 11 名

総合市民図書館

館長

織部 朋子

専任主幹

饗庭 寛子

主幹補佐

岡田 茂雄

専任主幹補佐

田嶋 有紀子

専任主幹補佐

瀬戸 あかね

上級主査

押小路 実弘

主任

浅場 勝弘

南市民図書館

主幹

渋谷 宇一郎

辻堂市民図書館

責任者

村上 尚子
(NPO 法人 市民の図書館・ふじさわ)

湘南大庭市民図書館

責任者

長坂 伸子
(NPO 法人 市民の図書館・ふじさわ)

事務局

河村 融
(NPO 法人 市民の図書館・ふじさわ)

1 開会

2 議題

- (1) 前回の会議録確認
- (2) 2 月議会について
- (3) 平成 29 年度予算の概要について
- (4) 図書館図書室利用者アンケートについて
- (5) 事業報告
 - ・総合市民図書館
 - ・点字図書館
 - ・南市民図書館
 - ・辻堂市民図書館
 - ・湘南大庭市民図書館
- (6) その他

委員長 平成 28 年度第 4 回藤沢市図書館協議会を開会いたします。
本日の会議の成立について事務局より報告をお願いいたします。

事務局 会議の成立について、ご報告申し上げます。
藤沢市図書館に関する規則第 20 条第 2 項により、本協議会の成立要件として、「委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない」とされております。
現在の定員数は 7 名で、本日は 1 名遅れてお見えになると連絡を受けており、5 名の委員に出席していただいておりますので、本日の会議は成立したことをご報告いたします。
本日の会議は、藤沢市情報公開条例第 30 条第 1 項の規定に基づいて公開としております。なお、本日の傍聴者はありません。
事務局からの報告は以上となります。

議題（1）前回会議録の確認について

委員長 まず、議題（1）として、前回の会議録の確認ということで、何かありますでしょうか。

委員 なし

議題（2）2 月議会について

委員長 2 月議会について説明をお願いします。

事務局 2 月議会についてご説明いたします。
2 月市議会定例会が、2 月 16 日から 3 月 22 日まで開かれました。今回 2 月市議会定例会につきましては、特に図書館の関係はございませんでした。なお、予算等特別委員会でいくつかの質問等がございましたので、ご報告させていただきます。

①公共図書館の役割と今後の取り組みについて伺いたい。
→公共図書館は、図書館法にあるように、住民誰でも無料で利用できる施設、子どもから高齢者まで地域の全ての住民に様々な知識や情報を提供する地域の知の拠点であり、また気軽に来て時間を過ごすことができる居場所の役割があると考えており、今年度の取り組みとしては代表的なものとして、4 図書館では生涯学習部でオープンした「藤澤浮世絵館」、「アートスペース」など、部内の施設と連携した展示、総合市民図書館では国立国会図書館から配信される歴史的音源を使用したコンサート、南市民図書館では手話を使ったおはなし会、辻堂と湘南大庭市民図書館では地域の人材を活用し、地域をテーマとした講演会等を実施しました。

②住民の要望に応えられるだけの資料の充実が図られているのかどうか。平成 29 年度の資料購入費は、資料の充実に取り組んでいるのかどうか。
→計画的に資料の購入を行い、市民からのリクエストに対して対応できる

ように現在努めています。

また、市民からの寄付金を積み立てた文化振興基金を活用しまして、平成 28 年度は児童書を中心に購入いたしました。平成 29 年度は、一般図書にも活用し、資料の充実に取り組んでいく旨を回答いたしました。

③図書館に従事する職員のうち、司書資格を持っている人数はどれくらいいるのか。

→総合市民図書館と南市民図書館の正規職員 25 名のうち、11 名が司書資格有しており、全体の 44%にあたります。

非常勤職員の中でも専門性の高い専門業務員については、23 名いまして全員が司書資格を持っています。また、辻堂、湘南大庭市民図書館は NPO の責任者、副責任者、主任 20 名についても全員が司書資格を有しております。

④図書館の指定管理制度の導入について、市の見解はどうか。

→本市図書館の運営は、総合市民図書館、南市民図書館、11 市民図書室については市の直営で行っております。そして、辻堂、湘南大庭市民図書館は専門的知識、経験を有する市民スタッフによる、NPO 法人に委託しています。今後も地域に根ざした質の高い図書館サービスの提供ができるよう現在の運営体制を基本として進めていきたいと考えています。

⑤これからの図書館について、どのような検討が行われているのか。

→2 年間にわたり、様々な視点において今後の図書館のあり方について検討した結果が近日中に報告書としてまとめられる予定です。

⑥近隣でも指定管理が課題になっているが、藤沢市にはボランティアが多く活動していることから、これが藤沢らしさになっているので、そのようなことから市の直営で行くことが良いと思うがどのように考えているのか。
→多くのボランティアや NPO 法人といった市民との協働で図書館運営を担っている状況を生かしながら、これからもこの運営を行っていききたいと考えています。

⑦ボランティアがたくさんいるということで、佐賀県の伊万里市が「librarianship (ライブラリアンシップ) 賞」を受賞したということで、藤沢市もこれを狙えるのではないのか。

→藤沢市には、500 名余りのボランティアがいらっしやいます。生涯学習の観点からも市民参加を支援し、ボランティアの養成・育成を行い、市民との協働による図書館運営を今後も進めていきたい。

⑧資料購入費について、ピーク時と比べどのくらい今は減少しているのか。
また、資料のあり方も時代とともに変わってきており、本だけでなく調べものに便利なデータベースの充実も必要だが、藤沢市にもデータベースがあると聞いているがどのような種類があるのか。

→資料購入費については、10年ほど前から少しずつ減少している状況にあり、平成23年度からは一定額を維持しているところです。金額としては、5,970万円程を維持しているということになります。平成27年度からは前年度に市民からいただいた寄付金を積み立てた基金から、資料購入費に充当しまして予算を増額しています。

また、図書館では本だけでなく、データベースの充実にも努めています。そして、総合市民図書館の調査研究室には、新聞や雑誌の記事を検索できるデータベースや法令や判例を調べるためのデータベースがあり、みなさんに活用されています。

⑨課題解決型の図書館というのが言われていて、図書館は街づくりの中心にいてもいいくらいだと思っているが、今後図書館のあり方をどのように考えているのか。

→「いつでも、どこでも、だれでも、なんでも」をモットーに全域サービスに取り組んでいます。

そして、従来の貸出型から滞在型、交流型など、時代に即した図書館の機能を考えることも必要です。さらに子どもから高齢者まで、地域の全ての人の知の拠点、居場所としての役割を持つ図書館をこれからもめざして取り組んでいきます。

⑩市民から夜間開館について要望等がありますか。

→現在、火・金曜日に夜7時まで開館していますが、火・金曜日以外の日も、夜7時まで開館してほしいという要望は市民から寄せられています。

⑪今後、拡大していくことは考えているのか。

→夜間開館の拡大に伴う人件費・光熱水費などの経費の負担や人員の配置など課題もありますが、夜間開館のニーズ、他市の状況、利用者の動向等について研究します。また、夜間開館以外にも図書館に求められている様々なサービスの提供についても研究し、多様な視点から検討してまいります。

以上が、2月議会定例会であった質問に対する回答になります。

委員長 ありがとうございます。

今のことについて、ご意見ご感想ございますか。

委員 なし

議題（3）平成29年度予算の概要について

委員長 事務局から説明をお願いします。

事務局 今回の2月定例会で議決された平成29年度図書館予算の概要についてご説明いたします。

平成29年度図書館予算につきましては、総額で6億5,665万円となっており、前年対比で1.1%の減、金額にして643万8千円の減となっております。この主な理由といたしましては、平成29年度から図書館情報ネットワークコンピュータシステム機器が再リースとなり、その賃借料が減となること、また平成28年度に実施した総合市民図書館の空調設備である全熱交換機一体型外調器の改修工事が終了したことにより、大規模改修費が平成29年度はなくなったこと、平成28年度に購入した辻堂市民図書館の公用車の車両購入費が平成29年度はなくなるなどによるものです。

＝資料に基づき各予算項目の増減理由について説明＝

以上で、平成29年度予算の概要についての説明を終わらせていただきます。

委員長 ありがとうございます。

今の予算の概要の説明について、みなさん何かございますか。

石塚委員いかがですか。

委員 子ども読書活動推進事業費の中のブックリストの配付についてですが、どのようなものですか。

事務局 ブックリストは子どもの発達段階に分けていくつか作っております。赤ちゃんから読める絵本のブックリスト、読み継がれた絵本のリスト、幼年物語のリスト、小学校1，2年生用、3，4年生用、5，6年生用、中学生用として年2回夏休みと冬休みの前にお薦めの本を紹介するリストなどがあります。また、生まれてから4ヶ月までのお子さんがある家庭を対象とした保健師による全戸訪問時や、ブックスタート事業時、3歳児半健診時等の機会を捉えて配付するリーフレットなどもあります。

委員 小さい子向けには個人に配付するほか、学校などには毎年配付されていますか。
事務局 図書館、図書室では個人の方に配付しております。それから小学校、中学校などでも配付してもらっております。

委員長 他何かございますか。

それでは、私から質問します。障がい者・高齢者宅配サービス事業費について、今の実状はどのようになっていますか。

事務局 昨年度の登録状況ですが、宅配利用者が全地区で88人、活動ボランティア数が79人で、需要と供給のバランスがとれている状況です。

委員長 今後、もしも、サービス利用者が増えた場合についてはいかがですか。

事務局 宅配ボランティアを常時募集しております。宅配サービス希望者とマッチングが図れるよう確保に努めていきたいと考えております。

委員長 事業費の内訳はボランティアに関わるものですか。

事務局 謝礼、ボランティア保険、提供資料の購入費等となっております。

事務局 宅配サービス事業費の中には、例えば活字が大きな大活字本であったり、CDでも朗読などを購入できる資料費も持っております。これは一般の方も借りら

れるようなかたちで提供しております。

- 委員長 他に何かございますか。
- 委員 障がい者の方や、高齢者の方は、そのようなサービスを受けるためには地域の図書館に申し出るのですか。
- 事務局 4館で随時受付しています。
- 委員 宅配サービス用のブックリストみたいなものがあるのですか。
- 事務局 現在は、特に宅配サービス用のブックリストは作っていませんが、「こういう本が読みたい」という希望があればリストアップして利用者の方にご覧いただくことはあります。また、今年からボランティアさんのお薦めの本を紹介するリストを配付するという試みを実施しています。
- 委員長 あと、図書館情報ネットワーク事業費の中に「コンピュータ再リースによる」とありますが、コンピュータはどのくらい保ちそうですか。
- 事務局 予定といたしましては、29年度は再リースし、平成30年度の後半にリプレイス、いわゆる機器更新をする予定でございます。
- 委員長 システムそのものを変更等というのではなくて、そのまま機械だけを替えるということですか。
- 事務局 どういった機器構成にするか、どういったサービスを今後新しいシステムに乗せていくかにつきましては今後の検討課題とさせていただきたいところです。
- 委員長 わかりました。
- 事務局 先程ご質問がありましたブックリストを回覧させていただきます。
＝資料回覧＝
- 委員長 ありがとうございます。
予算に関しては、また何か後で出てくるかもしれませんが後ほど今までのをまとめて質問、ご意見をいただくことにいたしまして、次の議題についてお願いいたします。

議題（４）図書館図書室利用者アンケートについて

- 委員長 事務局より説明をお願いいたします。
- 事務局 平成29年度藤沢市図書館図書室利用者アンケートについてご説明いたします。前回の図書館協議会で、来年度、図書館協議会として利用者アンケートを実施していくことについて議題としてあげさせていただきました。また、併せて当日これまでに実施したアンケートを、アンケートモデル例としてご紹介もさせていただいたところです。
本日は、実施するアンケートの目的とアンケートの中身を資料としてお手元に配付いたしましたので委員のみなさんにご検討を進めていただきたいと思います。お手元の別冊資料の1のうち、「平成29年度藤沢市図書館図書室利用者アンケート実施概要（案）」と書いてある資料をご覧ください。

まず今回のアンケートの目的ですが、図書館法に基づきまして、図書館の運営状況について評価するため、その基礎資料としてアンケートを実施していくもので、利用者の満足度やニーズを把握し、今後の図書館に必要なサービスや機能について検討するため実施するものです。実施期間につきましては、7月25日から8月8日までの約2週間、実施する場所、配付枚数につきましては総合市民図書館で1,000部、南市民図書館、辻堂市民図書館、湘南大庭市民図書館で各500部、計4館で2,500枚のアンケートを行い、アンケートの集計と分析、評価につきましては年度の後半期で行ってまいりたいと考えております。

続きまして、アンケートについての説明に移らせていただきます。まず、前回実施したアンケートが、A4サイズにして4枚あり、アンケートにご回答いただいた利用者の方からアンケートの量が多いという声があつたこと、またアンケートの文面の最後の方になりますと未記入、未回答の方が多くなっていることが反省点としてあげられます。これらを踏まえ、今後実施するアンケートにつきましては可能な限りコンパクトにして進めてまいりたいと考えております。具体には、前回アンケートでは分けて記載した図書館図書室についての設問を今回統一したいと考えております。

まず問1は、アンケート回答者の基本事項として、性別、年齢、職業、住所を、問2で図書館の利用頻度、問3では問2で図書館を利用しないと記載した方に図書館を利用しない理由について伺うものです。問3ですが、図書館にご来館いただいている方に図書館を利用しない理由を伺うものです。前回アンケートと同様に記載しましたが、この点につきましては、みなさまのご意見をいただきまして見直し等を図ってまいりたいと考えております。

続きまして、問4は初めて図書館図書室を利用したきっかけについて、問5は図書館図書室の利用目的について、問6は図書館図書室を利用したときの満足度について、問7は今後の図書館に望まれるサービスについて伺うもので、問8、問9に自由記載欄を設けております。

アンケートは以上でございますが、ご意見をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

委員長 ありがとうございます。

それでは、私のほうから。アンケートはもう少し短くなりませんか。

事務局 検討します。

委員長 個人の考えで言うと、問3、4、6も切れると思うんですけども、問5、7があれば良いのではと思うのですが、これは極端な言い方ですけどいかがですか。

それでは次の議題にうつります。

議題（5）事業報告について

委員長 事務局より説明をお願いします。

事務局 各館から資料に基づき説明

総合市民図書館

点字図書館

南市民図書館

辻堂市民図書館

湘南大庭市民図書館

委員長 ありがとうございます。

それでは、議題1から5までどの部分に対してでも結構ですので、ご意見をお願いいたします。

委員 ブックリストについてですが、私も子どもの施設で働いているのでそういうのを活用できたらと思い質問しました。先程ブックリストを回していただいて、見せていただいたら、私の関わる施設にも届いていたとわかったのですが、やはり活用出来ていないかな、色々な保育園、児童館でどれくらい活用出来ているのかというのが課題かなと思いました。ブックスタートの本の配付は、お母さん達はけっこう重宝してらっしゃる風に見受けられるんですけど、やはり施設に配る貴重な書類が各小学校や保育園で活用されないとあまり意味がないので、そういう場所に対する指導があった方が良くかなと思いました。

それから、アンケートについてですが、先程大村委員長が言われたように、答える側になると質問事項が細かいかなと思います。アンケートとしてこれだけの内容のものを欲しいと言うことであれば、それもいたしかたないかなと思うんですが。回答項目が5段階評価になっているのですが、これは全部点数化をしてアンケートの結果を出したいということですか。

事務局 回答をされる方にとっても、5段階評価で選ぶ方が答えやすいと思いこのようなかたちにさせていただきました。

委員 私が関わる施設でアンケートをやるんですが、ラインを引いて、一番左端が当てはまる、一番右端が全然当てはまらない、というように、そのラインのどのあたりに丸を付けるかというかたちにしています。お子さんにもアンケートを取るとなると、5段階評価では小さいお子さんや高齢者の方はなかなか丸が付けづらいかなと思います。ただ、ラインに丸をつけるかたちでは、点数化はできないので、このアンケートをどのようにフィードバックして結果として出されたいかという図書館側の意図とはあわず、あながちうまく行かないと思うんですが。書き手側とするとちょっと大変かなという気がしました。

それから、この間仕事の関係で大和駅のすぐそばの図書館に行く機会がありまして、最近できたものすごく素晴らしい図書館で、建物、ハードウェア的にも新しいと言うことで近隣の図書館、コミュニティーセンターも全部来館者を持っていかれたと言っていました。ハードウェア、資料等もものすごく新しかったので、何か事業をしなくても、黙ってでも人が流れていってしまうと言うよ

うな感じでした。藤沢も事業的にすごく魅力があり、なかなか藤沢市の予算として建て替えなどできないと思うんですが、やはりせめて資料がどんどん新しくなっていくと黙ってでも来館者が出てくるかなと思うので、建物を替えるということができなくても、ソフト面で新しいものにどんどん入れ替えていくチャレンジをしていただけるとすごく良いのではないかと思います。

委員長 今のところで、事務局側でお話ししたいことございませんか。

事務局 ブックリストについて、ご意見ありがとうございました。皆様にどのようにご利用いただくかということが大切で、皆様のご希望、ご要望なども聞きながら、作る時、お配りする時の工夫をしていかなければならないと思っています。今子ども達に関わる各施設の皆様には、年度当初の会議等にかがいて、ブックリストのような資料をお配りしたり、図書館と連携して使っていただける事業の説明などをするをしております。

また、平成26年度に市民の方からいただいたご寄付を基金に積みたてておりまして、その基金から充当させた予算で、今年度から配本の事業を始めることができいております。今年は、市立の保育園と地域子どもの家に、先程のブックリストに載っている図書館からのお薦めする本をまとめて配本させていただくことになりました。また総合市民図書館の子ども図書館にはべにばら文庫という棚を設置しまして、お薦めの本を置くコーナーを作っております。ブックリストと実際の本と一緒に各施設でご利用いただけるような事業を今後も続けていきたいと思っております。

事務局 アンケートについてですが、内容についてもこちらのほうで見直ししていきたいと思っております。アンケートについては、図書館の変化を確認するという事で毎年定期的に今後行っていきたいと考えています。その中で図書館について皆さんどのように考えてらっしゃるとか、サービスのどの部分をどの程度満足に感じられるのか、どの部分が不足していると感じられるのかとか、そういったところも毎年経年変化を見ていきたいと考えています。市民のニーズを図るというところで必要なことかと思っておりますので、図書館に対する満足度を測るというところで内容の方も検討させていただきたいと思っております。ご意見などありましたらお寄せいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

事務局 ご提案として、このアンケートに対して肉付けをしていくというようなかたちで進めさせていただければと思うのですがいかがでしょうか。

委員長 ここで決まらないと思うので、持ち帰って検討して、それを図書館にフィードバックしていただいたものを改めて検討していただくようなかたちを取らざるを得ないでしょうね。

事務局 補足をさせていただきますと、このアンケートは経年変化を見るための内容です。

この時に主に聞きたかったのは、利用者の方の満足度でしたので、設問の内容もそのようになっております。

昨年度行ったアンケートにつきましては、「これからの図書館検討委員会」の中で資料として使うということがありましたので、満足度というより、これからの図書館に求められるもの、若しくは今皆さんがどのような使い方をされているかということを知ることが主になっております。逆にいうと、昨年のアンケートには満足度についての項目はないということになっております。ですので、そこを踏まえたき台としてお出しした部分と、以前のものとの両方、今日はお示しするかたちとなりました。ご覧いただいてどのような設問を作っていくかということで議論していただきたいとおもいます。

委員長 藤沢では、図書館の満足度は非常に良いことになっていますね。

事務局 以前、市で行った満足度調査では、よい結果が出ていました。図書館を評価する指標については貸出者数や登録者数などがよく使われるのですが、これは藤沢市だけでなく全国的にも下がってきている状況です。今まで使っていた指標は数値化するとどうしても下がってしまうものが多いのですが、これだけ市民の方、利用者の方が使ってくださっている、または満足に思ってくださっていることが何か出せるのであれば、そういうものをアンケートの中でお聞きして出していっても良いのではないかと考えております。

事務局 大和市についてですが、実際私も行って話も聞いてきました。来館者数は相当伸びたそうです。数値的にはわかりませんが、10倍以上伸びていると思うとのことでした。理由としては、施設が新しくなったことが一番大きいと思います。それから、来館者数の数え方についてですが、施設全体を図書館と見ているそうです。ホールとか色々な施設を含めて全体を図書館と考えるのが市の考えだそうで、相当な数値の伸びがあるということを知っています。もう一つは、貸出者数がそれ程伸びていないそうです。良い言い方をすると、完璧な滞在型の施設になっているということを知っています。図書館流通センターの方がおっしゃっていました。

委員 私も大和市の図書館に行きました。娘が近くに住んでいるものですから、すごく良いから絶対見に来てと言われていて、子どもが遊ぶ施設として、年齢によってプレイルームが分けてあって、有料のところもあって、小さいころから図書館に親しませる、行くきっかけになるという部分ではいいかなと思いました。それともう一つ、返却ポストが駅にも有って良いと思いました、4、5箇所あると思います。施設は、夜間利用が毎日9時までで、駐車場も有料なんですが、けっこう台数も入ると思います。それがけっこう衝撃を受けました。図書館ができたおかげで、大和駅周辺の人々の流れが変わってすごく良かったのかなと思いました。

私は、図書館に良く借りに来るのですが、新しい本がもう少し欲しいなと思

ます。それから、あまり汚いもの、読んでいてページが外れてくるもの、明らかにいっぱいシミがあるものを返すときに、そういうものを申し出ることになるとよいかと思います。みんな目を通すの大変だと思うので、図書館の方もそのようにするとわけやすいのではないかと思ったりしました。

アンケートはもう少し見てみないと分からないのですが、ある程度毎年修正しながら、なるべく字を少し大きくと、項目を少なくしてやっていただけるとありがたいです。

委員長 ありがとうございます。

委員 問7が、図書館に求められるものは何かというような項目だと思うのですが、実際に予算化できるものかどうか、コスト面で可能なものだけ入っているのでしょうか。期待はいっぱいしたい。私自身も実現すると良いなというものがかかなりあるのですが、人件費だとか、コスト面で予算化できるものなのかちょっと疑問だなと思います。そうでないものを項目にしても、満足度の面からも、どうなのかなと感じました。

委員長 ダイジェスト版にこれの結果がかなり詳しく出ています。問7のことに関して昨年のアンケートで同じものを取ってあって、ほとんど変わり無いでしょうから、あとでお渡しして、それに関してのご意見があればいただいた方が宜しいかもしれませんね。

事務局 今回ここに（案）で問7を載せさせていただいております。昨年のアンケートの中では、これからの図書館に利用者の方が何を求めているかということをお伺いしたくて載せましたが、経年で毎年聞いていくことということではないと思いますので、どのような聞き方をするのか、例えば自由記載の中にそのようなご意見が出てくる仕組みを入れるなどでも良いのかなと思います。

委員長 これに関しては、再度検討した方がよろしいかと思います。

委員 たぶんそれでカフェの設置等の項目が削除されたのかなと。少しずつ変わってはいると思うんですけど、実現可能なものを書いてもらうほうが良いかなと思います。せっかく利用者アンケートを取るからには、それをどうするかたちでフィードバックするかという時に、ハードルがあまり高いものになっても現実的ではないと思いました。

委員 図書館をどのように、どれくらい利用されているかということに関しては、良い結果が出るので、あえて取る必要があるのかと思いますが、経年的に変化を見るというところではいけば見るべきところではあると思います。

アンケートは僕も実際やったことがあります。各設問の選択肢が多すぎる、選べないと思います。各設問にある項目が異常に多い。これだと本当に疲れます。例えば問7であれば設備面とか、資料面とか、もう少し構造化された方が答えやすい。でも過去との比較というところで見るとあまり構造化しないで具体的に出ていた方がいいのかもしれない。

もう一つ、使いにくい書式のアンケートですと僕は答えない。これは、作る側の問題だと思うので、もうちょっと考えた方が良いと思う。自分で書いてみればどこに○を付けて良いかわからないというのが分かるはずなので、この辺は気をつけていただきたい。それと、紙で配るのもよいのですが、単純にインターネットで公開すればアクセスできて、自宅からインターネットやスマホで答えることができるのもよい。ただ、全然関係ない人が答える可能性があるのでそういったところは工夫が必要にしても、悪い方を考えるのではなく、良い方で考えれば、そのように回答したい人がいると、全然図書館に来ない人も答えてくれる可能性もあるということです。それと、若干選択肢が多いのと項目数が多すぎて、聞きたいことをただ羅列しただけというにしか見えません。考えたほうがよいと思います。

それと湘南大庭館の展示についての所で、南相馬市とのご縁というのはどういう縁なのでしょう。

事務局 湘南大庭館の職員と南相馬の図書館の職員さんが友人でした。
委員 南相馬の図書館は良いところですよ。行かれると良いですよ。お互いにやっているところを見せる意味で他の図書館との比較をした方が良いので、やはり縁があるところであるならばそのようにやっていくと良いと思います。

委員長 大和市の図書館のことについても何かありますか。
委員 新しい建物になれば人が来るのは当たり前で、なおかつ建物は賑わいの場を作るところを主目的にして作っているので、従来の図書館とはもう違うんですよ。渋谷さんもおっしゃったように、武雄市もそうなのですが、複合施設になっていて、本屋さんもあるし、カフェもあるし、その建物に入った人はみんな入館者数に数えるというやりかたになっているので、それと図書館を比べること自体が無理なんですけれど。両方図書館と名乗っている以上やはりそういうところで、従来型図書館というのは非常にハンデキャップを背負うようになると思います。良い建物を作ろうとすると、それこそ費用をかければいいものもできるのですけれど、その費用をどこから持ってくるのかという時に、従来型の図書館とは全く違う物になってしまう。こういったアンケートなどで見ていると、当然その9割とかほとんどの人があのような図書館の方が良いに決まっているんですよ。みなさんがアンケートの中でも求めているように本来図書館という所は何をしたらいいのかきっちりやった方が僕は良いと思います。以前、総合市民図書館で、未来の図書館を作るという内容の講演会をされたかと思うんですけど、その時の講師が言われていたのは、図書館は2階建ての構造になっていて、1階部分は本を提供するものであって、その上に施設などを加えていく。この1階建の部分はきちんと作るということがあるので、アンケート部分にしても、1階部分2階部分の切り分けをされて、基本的なところは従来型の図書館、その上に積む部分という整理をされた方が良いと思います。既存の

施設の中においても2階建て部分を作ることは可能ですから、ちょっとエントランスの部分をカフェにすることもできなくはない。藤沢の場合は、南館再整備の時までにその1階部分はちゃんと必要なもので、どれくらいまでできるか、本が多い少ないということがあると思います。2階建てになるとカフェだとかWi-Fiなどもあるので、バランスをどう取るのかというところは図書館側できちんとやっておかないと。利用者としては、従来型、新しい型、どちらもいいかと。

委員長 どういう利用者であるかということで、今長谷川委員が非常に分かりやすい説明をしました。1階部分に当たるのがいわゆる従来型の図書館でこれが図書館本来のニーズに合わせたもので、これがまともでなかったら、いわゆる劇場型とか滞在型を目指した集客型の図書館になっています。集客型の図書館は悪くないんですよ、ちっとも悪くないんだけど、県内の或いは、図書館関係者がそれらの図書館を見たとき、大半が良いと思わない。なんで良くないかというベースが危うい。みなさんは分かっているとおりここ藤沢の図書館、藤沢の図書館はベースがしっかりしています。数十年の間ずっときちりしたかたちで積み上げてきてますから、今更1年や2年・・10年予算が削られても、少し資料が少なくなったからといっても、びくともしません。したがってここで、もし、そういう劇場型或いは集客型の図書館を作ったとしても、ちっともおかしくないし、むしろそういうかたちでアピールすることの方が必要かと思います。つまり、1階部分がないところに、2階部分で勝負してもがたがたになってしまう。そのところをよくわきまえて、ご覧になればよいということだと思えます。

委員 貸出冊数というのはおのずと下がってこざるを得ないと思います。ここは余り気にする必要はないと思います。その代わり滞在型になるということであれば、ということがあるので、アンケートの中にある滞在時間のところをみなさんに、きちんと答えてもらえるようにしたほうが良いですね。あとは例えばレファレンスなどのサービスを知っているかという、図書館の基本的なサービスを出して行かれると良いのではないかと思います。予約だとかリクエストだとか、相談だとか、郷土資料を使ったりとか、1階建ての所が見えてくるようなものを作った方が良くないかと思えます。

委員長 ありがとうございます。

議題(6) その他

委員長 その他何かありますか。

事務局 横浜市との広域利用に関してのご報告をさせていただきます。前回、3月1日から横浜市との図書館との広域が始まるというご説明をさせていただきましたが、3月1日から20日までの状況については、全体では横浜市民の方のご登

録は、257名となります。一番多いのが、湘南台に接している泉区で、それから戸塚区、というところです。総合市民図書館でのご登録では、泉区の方が139名ということで、かなり多くの方にご登録いただいております。また横浜市立図書館で藤沢市民が登録した人数は34名で、中央図書館が一番多いという統計が出ておりますのでご報告させていただきます。

続きまして「これからの藤沢市図書館検討委員会」についてです。平成27年、28年度の2年間に渡りまして、学識経験者あるいは市民公募、ボランティアなどの皆さんに藤沢市図書館のこれからのあり方について検討いただき、このたび「藤沢市図書館が市民のためにめざすもの～5年後、10年後、100年後も受け継がれる図書館に向けて～」という報告書ができました。本日、小田委員長と大村副委員長から教育長にこの報告書を提出いたしました。委員の皆様には、後日送らせていただきます。

委員長 ありがとうございます。

委員 広域利用の資料についてですが、できたら地図に落としてください。そうすると藤沢市とその泉区が近いということが、一目で分かりますので是非お願いいたします。

委員長 まとめで何か、他にございませんか。

それでは、会議そのものは終了ということにします。

以 上